

東北管内で採択された研究開発課題の概要

■中小企業枠(2課題)[29年度フェーズⅠ採択課題]

(敬称略)

課題名	研究代表者	研究分担者	概要	期間
次世代広域道路状況ビックデータ提供IoTシステムの研究開発	大関 一陽 (株式会社ビーアンドエーテクノロジーズ)	新井 義和 (岩手県立大学) 藤巻 和夫 齋藤 正人 (株式会社ビーアンドエーテクノロジーズ)	本研究の目的は、多様なセンサと異種規格の複数無線を搭載したコグニティブ無線により、劣悪通信環境でも、遅延耐性ネットワーク構成や、先進的な車車間・車路間通信等の導入で、広域で連続的な時空間の寒冷地域道路状況(乾燥、冠水、圧雪、凍結、ホワイトアウト等)を事前に把握出来る情報サービスシステムを実現することである。 このため本研究開発では、システムの一部を試作し、実際に岩手県等の道路における車両実証実験を通じて実用性とビジネス展開性をあきらかにする。	1か年度
熟練技術者のように少量多品種に対応する人工知能搭載実装基板検査システムの研究開発	田面木 真也 (東北電子産業株式会社)	斎藤 武 鈴木 章弘 板橋 勉 (東北電子産業株式会社)	本研究開発では、実装基板検査に必要な画像を、熟練技術者の判断を取り入れた人工知能で自動取得する、ロボットアーム型実装基板検査システムを開発する。 これにより、数台レベルの少量品でも自動検査を導入できるようになり、少量多品種の中小企業における低生産性の課題を解決する。また、熟練技術者の判断を人工知能化することにより、中小企業や地方における、熟練技術者不足、人材不足、熟練技術継承問題を解決する。	1か年度